



代表理事 佐藤 亜紀

人口減少、少子高齢化、高齢者・子育て世代の孤立化、産業・伝統工芸の衰退、後継者不足問題、など上げるときりがなくらい現代の地方の地域課題は山積みです。

地域課題だけを見てしまうと、地方での生活や、妊娠、出産、子育てに不安を感じるかもしれません。

しかし、私は日本の地方ほど子育てするのに素晴らしい環境はないと思っています。人や地域との関わりが薄れてきている現代だからこそ、日本の地域力が必要になってきていると思います。

地域には、先人たちが築き、守ってきた伝統工芸、文化、産業があり、それらを守り、繋いできた地域を愛する人がいます。

そんな地域の魅力と人を、これから生まれ

てくる赤ちゃんとお母さん、お父さんに伝えたい。

そして、BabyBoxが子育て支援や産業振興、地域との交流など様々なきっかけとなってくれば嬉しいです。

BabyBoxは単なる誕生祝品ではなく、ふるさと愛を育てる箱であり、まち全体で創る取り組み自体に意味があり、BabyBoxの製品にはひとつひとつ“物語”と“想い”が込められています。

BabyBoxを「受け取った人」はもちろん、「創る人」も「贈る人」も「応援してくれた人」もみんなが笑顔になる取り組みにするために… aLkuは、BabyBoxやその他事業を通して、地域課題を解決するために、模索、挑戦し続けます。

PROFILE

1987年神奈川県川崎市生まれ。一男一女の母。オーストラリア留学後、医療秘書と兼クラークとして勤務。2015年家族で山形県長井市に居住。地域おこし協力隊に着任。同年4月、長井市ひとり親家庭のコミュニティあんじゅ会発足、代表を務める。同年8月、山形県子どもの貧困対策・ひとり親家庭自立促進推進委員に委嘱され、子どもの貧困対策に取り組む。同年11月、長井市とWAOが連携して取り組む子育て支援とモノづくり支援事業の“BabyBoxプロジェクト”を企画発案し平成29年配布に向けて活動を始める。2016年10月、特定非営利活動法人aLkuを設立。

法人概要

所在地	〒993-0011 山形県長井市館町北6-27 TASビル 2F I-bay内
設立年月日	2016年10月27日
役員数	5名(相談役1名)
代表理事	佐藤 亜紀(長井市地域おこし協力隊)
副代表理事	本田 勝之助((有)本田屋本店 代表取締役社長)
理事	小室 邦夫(山形県立榎岡特別支援学校 事務部長)
理事	渋谷 真美
監事	新野 武憲(長井市役所職員)
相談役	佐藤 真功(元警視庁 警視監・警察学校長)
正会員数	10名
ホームページ	http://npo-alku.jp/
事業目的	〈定款に記載された目的〉 この法人は、活動で関わる自治体及びその地域の産前・産後の母親並びに父親たちに対して、新しいモデルによる子育て支援及びその普及啓発に関する事業並びに地域の産業及び伝統工芸等を活用し、子育て支援に係るソーシャルビジネスの開拓事業等を行い、地域における子育て支援の拡充、産業振興による地域活性化、次世代への日本の伝統工芸や文化的魅力の継承、そして安心して子どもを産み育てることができると社会づくりに寄与すると同時に、これを全国に発信し広めていくことを目的とする。

活動の歩み

2015.8

長井市シティプロモーションにて“BabyBoxプロジェクト”始動プロジェクトチームとして任意団体aLku設立

2015.11.17

長井市内にて、内谷重治長井市長、発案者佐藤亜紀、ファッションジャーナリスト生駒芳子氏の3人で“BabyBoxプロジェクト”始動記者発表

2016.4.11

長井市と業務委託契約を受託

2016.6.5

特定非営利活動法人aLku設立総会開催

2016.7.16

総務省ビジネスアワード事業に採択

2016.8.1

NECプロボノイニシアティブに採択

2016.9.1～11.5

“BabyBoxプロジェクト”がガバメントクラウドファンディングに挑戦(地域おこし協力隊事業としては全国で5件目、東北地方初の試み)

2016.10.27

山形県より特定非営利活動法人として認証

2016.11.1～2

NEC I-EXPOにて“BabyBox”の展示とトークセッションを開催(長井市長×NPOサービスグラント代表嵯峨生馬氏×NEC森氏でトークセッションを開催。行政×民間×企業の共創による地方創生の先進事例として“BabyBoxプロジェクト”が紹介された。NEC社会貢献室初の試み)

2017.4

“BabyBox”が、長井市内で生まれた赤ちゃんに贈られるほか、ふるさと納税への返礼品、首都圏デパート、aLkuオンラインショップでの販売開始

メルマガ登録

BabyBoxに関する最新リリースをいち早くお知らせします。

【登録方法】

①info@npo-alku.jpにタイトル「メルマガ登録」、本文に氏名を入力して送信

②登録完了メールが届いたら完了!



特定非営利活動法人 aLku (アルク)

〒993-0011 山形県長井市館町北6-27 TASビル2F I-bay内

TEL.0238-87-0049

FAX.0238-87-0036

〈URL〉http://npo-alku.jp

〈オンラインショップ〉https://npo-alku.shop-pro.jp/



VISION

1

生まれてくる赤ちゃんは、社会から祝福と歓迎を受けられ、家族は安心と希望を持って、妊娠・出産・子育てを迎えられる。

2

地方の地域力が上がり、地方から日本が元気になる。

aLku (アルク) はフィンランド語で“はじめる”という意味。

“目指す社会像 (VISION) に向かって歩いて行く”

という決意も込めて名づけました。

特定非営利活動法人 aLku(アルク)

BabyBoxとは

aLkuが行う“BabyBoxプロジェクト”は、行政、民間、企業、市民の共創によるソリューション型のプロジェクトです。“BabyBox”の箱や内容を地域の企業や伝統工芸を創る職人、市民と共に企画から創り、その地域で出産した全ての世帯へ自治体から無償で配布されます。また、同時に販売も行うことで産業の振興と地域のPRに繋がります。地域内で完結させず、外部の専門家や著名なアーティストに参画いただくことで製品の完成度と話題性を高めています。BabyBoxを創る過程は、地域の将来を担う赤ちゃんと子育て世代のために何ができるのかを考えるきっかけになります。BabyBoxはまち全体で赤ちゃんの誕生を祝福し、ふるさと愛を育て、地域課題を解決するきっかけの箱です。



事業の目的

OBJECTIVE 1

“BabyBox”をきっかけとして行政が子育て支援に力を入れていくよう促す

OBJECTIVE 2

地域の人に地域の魅力、伝統をPR(ふるさと愛を育てる)+全国に地域の魅力、伝統をPR

OBJECTIVE 3

“BabyBox”をきっかけとして、様々な地域課題の解決を目指す(ソリューション型のプロジェクト)

OBJECTIVE 4

産業振興(次世代へ産業を継ぐ、企業PR、販路開拓、新たな商品の開発)

OBJECTIVE 5

女性の子育てしながら活躍できる社会をつくる

OBJECTIVE 6

「このまちに生まれてきてくれてありがとう」——祝福と歓迎をまち全体から贈る

協賛のお願い

企業・団体協賛メニュー	協賛金/1口	特典
ベースサポート	50,000円/1口	BabyBoxパンフレットに企業名掲載。aLkuHP、メルマガ、SNSに企業名掲載、企業案内等配信
BabyBoxプラス	100,000円/1口	【ベースの特典に追加】 配布用BabyBoxに企業提供サンプル、案内等の取り入れ
ニーズ調査プラス	100,000円/1口	【ベースの特典に追加】 子育て世代等にBabyBoxを通してニーズ調査の実施

aLkuの事業概要

地域の素材や産業を活用した商品開発等のプロデュース事業

地域課題にあったテーマを紡ぎ、課題解決に繋がる商品、地域の良さが詰まった商品を事業者さんや自治体さんと共に企画から作り、地域内外に配布・販売していきます。



BabyBoxラインナップ事例

ひとつひとつ背景と物語があり、目的がある

“NAGAI BabyBox”山形県長井市(H29)



～まち全体で創ったふるさと愛を育てる祝福の贈りもの～
販売価格 30,000円(税抜)

- 「ベビーベッドにもなるBabyBox本体」大宮エリー×(株)加藤紙器
- 「漆と縄のモビール」アトリエ・ギャラリー Cielo(シエロ)漆器職人 江口達哉
- 「子育てママがつくるオーガニックスタイ」長井市のママさんたち×(株)アバンティ
- 「カラスムージー」●「2Way授乳ケープ」●「清流せっけん」
- 「NAGAIの絵本～市民公募で選ばれた読み聞かせ絵本」作家:Sizuku×(株)サンノー企画印刷
- 「オーガニックベビー服・オーガニックタオル」(株)梅村呉服店
- 「国産ヒノキのゾウさん」菅野建具
- 「長井紡柄折り紙」(株)サンノー企画印刷

～ミニBabyBox オーガニックセレクト～

販売価格 10,000円(税抜)

- オーガニックベビー服(60cm)
- ママたちが作るオーガニックスタイ【(株)アバンティ監修デザイン】
- 建具屋さんが作る高級国産ヒノキのゾウさん
- 長井紬柄折り紙



BabyBox商品やaLkuオリジナル商品の購入ができます。

aLku オンラインSHOP

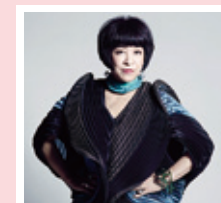
検索



BabyBoxをつくる人たち



参画するプロフェッショナル



〈連携・監修〉
WAO総合プロデューサー
ファッションジャーナリスト
生駒 芳子



〈プロデューサー〉
(有)本田屋本店 代表取締役社長
内閣府『地域活性化伝道師』
本田 勝之助

VOGUE、ELLEでの副編集長を経て、2004年マリ・クレール日本版編集長に就任。2008年11月独立。日本の伝統工芸を世界発信するプロジェクト「工芸ルネッサンスWAO」の総合プロデューサーを務める。クールジャパン審議会委員。公益財団法人三宅一生活デザイン文化財団理事JFW(東京ファッションウィーク)コミッティ委員。

全国30の地域・都市ブランド戦略を手掛ける地域プロデューサー。第1次産業から伝統産業、ものづくり、まちづくり、スマートシティまで幅広い専門領域から地域ブランディングのための戦略を構築する。地域オフィアのリピート率は中長期的に地域振興依頼がおよそ10割という実績を誇る。現在全国80地域プロデュースを手掛ける。



〈BabyBoxカラスムージー監修〉
料理研究家
株式会社サミーズ 代表取締役
鈴木 あさみ

一般社団法人ファームマエストロ協会理事長。農業が学べる資格「ファームマエストロ」の協会を立ち上げ、卒業生と商品開発プロデュースを手掛けている。自宅のイエナカで40種類の野菜を育てるなど、気軽にはじめられる家庭菜園として「イエナカ菜園」を提唱。身体の中から健康でキレイになれるビューティーレシピ・野菜を専門にする料理研究家としてテレビや雑誌などで活躍中。著書も多く出版している。



〈BabyBox本体デザイン参画〉
作家／脚本家／映画監督／演出家
CMディレクター／CMプランナー
大宮 エリー

映画「海でのななし。」で映画監督デビュー。主な著書に『生きるヒント』『思いを伝えるということ』(文春文庫)、『グミとさちこさん』(絵・荒井良二/講談社)、『物語の生まれる場所』(廣済堂出版)、『猫のマルモ』(小学館)、『なんとか生きてますッ』など。また、演出家として「GOD DOCTOR」(新国立劇場)、「SINGER 5」(紀伊国屋ホール)を発表。2007年よりテレビドラマの脚本、演出も手掛けている。